

校長通信

『意志のあるところに道は開ける』 NO.1

Where there is a will, there is a way.

令和5年6月21日
校長 馬場 智生

新入生の皆さんご入学おめでとう・・・4月10日新入生歓迎会の様子（写真左下・中央）。今年は318名の新しい仲間を迎えました。同日の新入生部活動勧誘会（写真右下）。深高には幅広いジャンルの部活があり、部活動加入率は8割超です。



◆体育祭 6月1日・6日（2日→6日に順延）



新型コロナは「5類」に移行し、今年の体育祭は4年ぶりに全校生徒での開催となりました。予行練習のあと競技開始、やはり明日は雨かなあ・・・各競技は盛り上がっています。予想は的中し、6日に順延しました。前日5日は猛暑！当日も熱中症が心配のため、時間短縮など競技を工夫しました。



仲間を応援する姿に感動です。大きな声を出すのは4年ぶり！



☆開催に際して尽力し頑張ってくれた3人の皆さんにお話を伺いました。

桜虎団団長（西尾 英志君）

応援団の振り付け、団旗、衣装、音源などの役割を分担することに大変苦勞しました。また団長というリーダーとして、人を動かしたり、まとめたりすることの難しさや責任の重さを実感しました。全校生徒全員で実施できた体育祭は、とても楽しめることができ嬉しかったです。生徒の皆さん、そして先生方に感謝しています。

青狼団団長（橋本 慈君）

この体育祭で、リーダーとして今やるべきこと、団長として求められていること、人に任せるべきことの判断や責任感の重さを感じました。そして仲間にも頼ること、自ら行動に移すことなど学ぶことがたくさんあり、最高の体育祭ができました。先生方をはじめ団員や仲間のみんなに感謝しています。

体育祭実行委員会代表（西村梨々紗さん）

全体に指示を出し行動を起こすことに苦勞しました。今やるべきことや必要なものなど、優先順位を速やかにそして的確に判断していくことがとても大変でした。しかし積極的に行動すること、的確な情報の集約、リーダーシップ力など、自分にとって大きく成長できた体育祭で、大変楽しかったです。仲間から1番楽しい体育祭だったと伝えられ最高の思い出になりました。

今回の体育祭は、生徒が自分達の手で創り上げることを目標に進めてきました。その結果、体育祭実行委員の皆さんが中心となり、応援団長をはじめ団員のみんなでもリーダーシップを発揮し、見事体育祭を成功させました。皆さんの苦勞と努力が実を結んだ素晴らしいパフォーマンスでした。普段は穏やかでおとなしい印象の皆さんですが、一変してエネルギーに溢れる活気に満ちた勇姿が見られ、深高生の底力と集中力は目を見張るものがあります。仲間と一致団結し、本気で競い合い、応援し合い、最後に見せたその笑顔は、勝ち負けではなく全力を尽くし最後までやり抜いた清々しい表情でした。そんな青春の力を燃焼させて創り上げた楽しい思い出も、学んだ経験も今後につなげていってください。

☆生徒の活躍

○女子剣道部（団体）

11年連続関東大会出場（6月）、全国選抜大会出場（3月）、インターハイ予選東京都第3位（6月）

○書道部 橋本杏音さん 美術部 原田 涼さん

2023全国高等学校総合文化祭出場（7・8月鹿児島県）

○川口朔来さん

BMX フラットランド国際大会第3位入賞（5月フランス）